

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2293 URL http://www.takizawaham.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	30,404	2.8	59	—	104	—	55	—
2020年3月期	29,580	△7.3	△86	—	△46	—	△146	—
(注) 包括利益	2021年3月期		299百万円(—%)		2020年3月期		△306百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	26.82	—	1.5	0.8	0.2
2020年3月期	△71.24	—	—	△0.3	△0.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	13,531	3,710	27.4	1,806.72
2020年3月期	13,088	3,411	26.1	1,661.12

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,710百万円 2020年3月期 3,411百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	615	△234	△257	1,734
2020年3月期	448	△198	△555	1,611

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	30	55.9	0.8
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		22.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,550	—	55	—	55	—	30	—	14.61
通期	30,030	—	300	—	300	—	180	—	87.65

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	2,102,000株	2020年3月期	2,102,000株
2021年3月期	48,369株	2020年3月期	48,369株
2021年3月期	2,053,631株	2020年3月期	2,053,654株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,035	6.3	122	—	155	—	294	—
2020年3月期	27,325	△7.3	△120	—	△91	—	△151	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	143.62		—					
2020年3月期	△73.61		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	13,450		3,710		27.6		1,806.77	
2020年3月期	12,442		3,259		26.2		1,587.15	

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,710百万円 2020年3月期 3,259百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	14,490	—	55	—	30	—	14.61	
通 期	29,900	—	300	—	180	—	87.65	

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、個別業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により社会・経済活動の停滞、企業収益や雇用情勢の悪化等先行きの見通せない状況が続いております。

当業界におきましては、外出自粛要請や移動制限等から内食需要の高まりが見られたものの、二度に亘る政府の緊急事態宣言の発出から外食業態向けの需要が減少するなど、消費マインドの低下から厳しい事業環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは生活を支える重要な社会基盤の一部としての役割を果たすため、感染予防対策の徹底を図り安全安心な商品の安定供給を推進するとともに、集中生産による生産性の向上、品質の安定に努めてまいりました。また、内食需要に合わせた商品の提案・販売を図るなど、ライフスタイルの変化への対応に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、外食業態向けへの売上が大幅に減少しましたが、コンビニエンスストアや量販店への売上が堅調に推移したことにより、当連結会計年度の売上高は304億4百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

損益面につきましては、コスト削減や売上高の増加要因により営業利益59百万円（前年同期86百万円の営業損失）、経常利益1億4百万円（前年同期46百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益55百万円（前年同期1億46百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ソーセージ等の売上が前年を下回りましたが、生ハムの売上が増加いたしました。この結果、この部門の売上高は124億85百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類の売上が好調に推移いたしました。この結果、この部門の売上高は48億90百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、外食業態向けの売上が減少しましたが、量販店向けの国産豚肉や輸入ポークの売上が増加いたしました。この結果、この部門の売上高は129億15百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、コロナ禍の影響が長期化しており、外食部門等の売上高は1億12百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

② 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

事業部門別	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	比較増減	前年同期比 (%)
食肉加工品	12,409,237	12,485,280	76,043	100.6
惣菜その他加工品	4,360,858	4,890,211	529,353	112.1
食肉	12,661,311	12,915,664	254,353	102.0
その他	148,695	112,917	△35,778	75.9
合計	29,580,101	30,404,074	823,972	102.8

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産・負債

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ4億43百万円増加し135億31百万円となりました。これは、主に商品及び製品と株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ1億43百万円増加し98億20百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

② 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比べ2億99百万円増加し37億10百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と株価の上昇によりその他投資有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ1億23百万円増加し17億34百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

営業活動の結果得られた資金は6億15百万円（前年同期比37.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益計上によるものであります。

投資活動の結果支出した資金は2億34百万円（前年同期比18.1%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は2億57百万円（前年同期比53.7%減）となりました。これは主に、長期借入によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	26.1	25.7	26.5	26.1	27.4
時価ベースの自己資本比率(%)	44.0	48.5	45.3	45.8	47.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.4	11.5	4.3	12.3	9.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	24.2	11.2	27.3	10.1	13.7

自己資本比率：自己資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界規模で経済・社会活動に大きな影響を及ぼしており、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当業界におきましては、緊急事態宣言による社会経済活動の制限等により雇用環境の悪化、消費の低迷、また、輸入原料の安定確保への懸念など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況になることが予想されます。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き生活を支える重要な社会基盤の一部としての役割を果たすため、感染予防対策の徹底を継続し、安全安心な商品の安定供給を図ってまいります。

営業面におきましては、コロナ禍で変化する消費動向に対応した商品の開発・販売で売上の拡大を図ってまいります。生産面につきましては、ISO22000や小集団活動により更なる品質の安定、集中生産による生産性の向上に努めてまいります。仕入面につきましては、新たな海外原産地の開拓、優位性のある原料の安定確保に努めてまいります。

以上の施策により通期の業績につきましては、売上高300億30百万円、営業利益3億円、経常利益3億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億80百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の現時点で見込める影響を考慮しておりますが、今後の状況により業績予想の修正をする可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、コストベネフィットを比較考量した結果や海外展開していない現況を踏まえ、当面適用しないとの結論に至っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,487	1,960,635
受取手形及び売掛金	2,844,604	2,795,550
商品及び製品	998,884	1,178,675
仕掛品	170,477	187,291
原材料及び貯蔵品	219,024	258,185
その他	98,684	89,022
貸倒引当金	-	△280
流動資産合計	6,175,163	6,469,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,069,399	6,143,704
減価償却累計額	△4,267,719	△4,413,252
建物及び構築物(純額)	1,801,680	1,730,452
機械装置及び運搬具	1,569,942	1,631,333
減価償却累計額	△1,320,238	△1,354,029
機械装置及び運搬具(純額)	249,704	277,303
工具、器具及び備品	437,006	442,498
減価償却累計額	△300,620	△335,950
工具、器具及び備品(純額)	136,385	106,548
土地	1,647,004	1,646,870
リース資産	3,329,089	3,752,070
減価償却累計額	△1,896,656	△2,332,689
リース資産(純額)	1,432,433	1,419,380
建設仮勘定	385	385
有形固定資産合計	5,267,593	5,180,941
無形固定資産	111,035	97,529
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,171	1,545,608
その他	216,189	242,012
貸倒引当金	△5,037	△4,036
投資その他の資産合計	1,534,324	1,783,584
固定資産合計	6,912,952	7,062,055
資産合計	13,088,115	13,531,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,380,119	2,554,167
短期借入金	2,809,088	2,798,848
1年内償還予定の社債	40,000	240,000
リース債務	436,772	484,547
未払金	678,705	608,835
未払法人税等	37,801	42,833
賞与引当金	109,039	107,152
役員賞与引当金	8,823	6,015
その他	245,101	188,490
流動負債合計	6,745,450	7,030,889
固定負債		
社債	280,000	40,000
長期借入金	803,400	1,070,306
リース債務	1,131,896	1,078,907
繰延税金負債	47,557	104,943
役員退職慰労引当金	328	-
執行役員退職慰労引当金	7,944	10,832
退職給付に係る負債	461,090	352,411
その他	199,126	132,500
固定負債合計	2,931,343	2,789,902
負債合計	9,676,793	9,820,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,464,465	1,519,546
自己株式	△4,799	△4,799
株主資本合計	3,224,590	3,279,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,594	437,440
退職給付に係る調整累計額	△95,862	△6,767
その他の包括利益累計額合計	186,731	430,673
純資産合計	3,411,322	3,710,345
負債純資産合計	13,088,115	13,531,136

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	29,580,101	30,404,074
売上原価	24,339,517	25,315,318
売上総利益	5,240,584	5,088,756
販売費及び一般管理費	5,327,188	5,029,347
営業利益又は営業損失(△)	△86,604	59,409
営業外収益		
受取利息	155	165
受取配当金	30,475	30,271
補助金収入	8,822	21,117
受取賃貸料	32,550	31,012
その他	21,953	17,032
営業外収益合計	93,958	99,598
営業外費用		
支払利息	43,862	45,507
支払補償費	10,000	-
その他	241	9,323
営業外費用合計	54,103	54,830
経常利益又は経常損失(△)	△46,749	104,177
特別利益		
投資有価証券売却益	1,616	5,484
受取保険金	90,567	13,762
特別利益合計	92,183	19,246
特別損失		
固定資産除却損	12,780	2,177
投資有価証券評価損	15,623	-
減損損失	26,328	12,503
訴訟関連費用	21,729	17,966
特別退職金	10,000	-
災害による損失	62,735	11,216
特別損失合計	149,197	43,864
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△103,763	79,559
法人税、住民税及び事業税	30,433	33,358
法人税等調整額	12,097	△8,879
法人税等合計	42,530	24,478
当期純利益又は当期純損失(△)	△146,293	55,081
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△146,293	55,081

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△146,293	55,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,946	154,846
退職給付に係る調整額	△56,008	89,095
その他の包括利益合計	△159,954	243,942
包括利益	△306,248	299,023
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△306,248	299,023

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,641,564	△4,575	3,401,913
当期変動額					
剰余金の配当			△30,805		△30,805
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△146,293		△146,293
自己株式の取得				△223	△223
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△177,099	△223	△177,323
当期末残高	1,080,500	684,424	1,464,465	△4,799	3,224,590

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	386,540	△39,854	346,685	3,748,599
当期変動額				
剰余金の配当				△30,805
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△146,293
自己株式の取得				△223
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△103,946	△56,008	△159,954	△159,954
当期変動額合計	△103,946	△56,008	△159,954	△337,277
当期末残高	282,594	△95,862	186,731	3,411,322

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,464,465	△4,799	3,224,590
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純利益			55,081		55,081
自己株式の取得				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	55,081	-	55,081
当期末残高	1,080,500	684,424	1,519,546	△4,799	3,279,671

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	282,594	△95,862	186,731	3,411,322
当期変動額				
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する当期純利益				55,081
自己株式の取得				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	154,846	89,095	243,942	243,942
当期変動額合計	154,846	89,095	243,942	299,023
当期末残高	437,440	△6,767	430,673	3,710,345

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△103,763	79,559
減価償却費	703,382	728,900
減損損失	26,328	12,503
引当金の増減額(△は減少)	△13,630	△2,855
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22,785	△19,583
受取利息及び受取配当金	△30,631	△30,436
支払利息	43,862	45,506
固定資産除却損	12,780	2,177
投資有価証券評価損益(△は益)	15,623	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,616	△5,484
受取保険金	△90,567	△13,762
訴訟関連費用	21,729	17,966
特別退職金	10,000	-
災害損失	62,735	11,216
支払補償費	10,000	-
売上債権の増減額(△は増加)	448,948	50,275
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,648	△235,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△323,504	174,047
未払消費税等の増減額(△は減少)	△143,176	△58,360
その他	△38,047	△80,071
小計	549,018	675,832
利息及び配当金の受取額	30,631	30,436
保険金の受取額	20,376	13,762
訴訟関連費用の支払額	△21,729	△17,421
災害損失の支払額	△53,471	△11,216
支払補償費の支払額	△10,000	-
利息の支払額	△44,526	△45,105
法人税等の支払額	△22,235	△30,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,063	615,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,095	△5,185
投資有価証券の売却による収入	2,486	9,346
有形固定資産の取得による支出	△119,782	△215,188
固定資産の除却による支出	△4,953	-
無形固定資産の取得による支出	△67,554	△26,220
貸付けによる支出	△5,662	△350
貸付金の回収による収入	1,700	1,313
定期預金の増減額(△は増加)	△19	6,459
会員権の取得による支出	-	△5,550
その他	-	454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,880	△234,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△5,000
長期借入れによる収入	520,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△562,934	△538,334
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△441,341	△473,731
配当金の支払額	△31,171	△103
その他	△223	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,670	△257,168
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△306,487	123,607
現金及び現金同等物の期首残高	1,917,788	1,611,300
現金及び現金同等物の期末残高	1,611,300	1,734,907

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

偶発債務

(1) 当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、東京地方裁判所で係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(2) 当社は、2019年9月17日に債務不履行に基づく建物明渡等の訴訟を受けました。当該訴訟は、当社の直売店である「レッケルバルト栃木本店」が賃借している土地建物の一部について明け渡しの請求を受けているもので、宇都宮地方裁判所栃木支部において係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業

名称：滝沢ハム株式会社（当社）

事業の内容：食肉及び食肉加工品の製造販売

被結合企業

名称：株式会社テルマンフーズ（当社の完全子会社）

事業の内容：食肉及び食肉加工品の販売

② 企業結合の法的形式

2021年3月1日を合併期日とし、当社を存続会社、株式会社テルマンフーズを消滅会社とする吸収合併であり、合併による新株式の発行及び資本金の増加はありません。

③ 合併後企業の名称

滝沢ハム株式会社

④ 取引の目的を含む取引の概要

当社は経営資源の集中による一層の経営の効率化と営業・サービス体制の強化を図るため、当社の完全子会社である株式会社テルマンフーズと合併いたしました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,661円12銭	1,806円72銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△71円24銭	26円82銭

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△146,293	55,081
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△146,293	55,081
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,053	2,053

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,411,322	3,710,345
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,411,322	3,710,345
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	2,053	2,053

(重要な後発事象)

該当事項はありません。